



↑ 旅行のパンフレットの写真

- ①伊南川 ②スキー場
③温せん ④高清水公園

南郷地区は、すずしい気候を生かしたトマトさいばいがさかな地域です

「わたしは、気候を生かしたトマトづくりを調べたいな。どうやって調べればいいのかな。」

「ぼくは、スキー場やそば畑のように、山地がどのように利用されているのか知りたいな。」

トマトさいばいがさかな南郷地区の人びとは、土地の様子に合わせて、どのようなくらしや仕事をしているのでしょうか。

4月



たねまき
4月になったらトマトの種をまきます。

5月



仮植（かしょく）終りよう
5月も近づくころ、育ったなえをポットに植えます。

6月



定植（ていしょく）終りよう
柱を立てて、なえを畑に植えます。

3月



畑から雪をなくす
3月になったら、畑の雪をとかし始めます。

トマトが出荷されるまで

ゆき由紀さんたちは、役場の人から送られてきた手紙やしりょうをもとに、南郷地区のトマトづくりの様子をまとめてみました。

南郷地区のトマトはどのようにつくられているのでしょうか。



↑ マルハナバチ

トマトをつくっている方の話

みなみあいづちほう南会津地方は、すんだ空気と水、そして昼夜の温度差が大きいという気候のため、トマトさいばいにてきしています。そのためとてもあまくてみずみずしいトマトが育ちます。

毎年3月の末からトマトづくりを始めます。トマトの実をかくじつにつけさせるため、ハチを使ってもいます。おいしいトマトができればいいなと思いながら、いつもいろいろな作業をしています。